

(公財)神戸大学六甲台後援会だより

(51)

財団創立60周年を迎えるに当たって

私たちの公益財団法人神戸大学六甲台後援会は、昭和32年に財団法人として設立されました。早いもので今年には創立60周年を迎えることとなります。想起こしてみますと、10年前には創立50周年を記念してポートピアホテルで記念シンポジウムを開催しました。基調講演は当時国際日本文化研究センターの教授であった猪木武徳氏に「21世紀の経済社会システムに求められるもの」という表題でお願いしました。神戸大学のCOE3拠点としての法・経済・経営の3学部からの現状報告のあと、加護野忠男教授をコーディネーターとして、猪木武徳氏、植村武雄氏（小泉製麻株式会社社長・前神戸経済同友会代表幹事）、片山善博氏（慶応義塾大学特別教授・前鳥取県知事）、および、松並潤氏（神戸大学国際協力研究科教授）によるパネル・ディスカッションがもたれ、会場に集まれた約500名の皆さんにお聞き頂きました。この時は、兵庫県・神戸市はもちろん、神戸商工会議所、神戸経済同友会、日本経済新聞社、神戸新聞社、NHK神戸放送局などからもご後援を頂きました。こうした企画は、これからも、きりのよい年、例えば75周年とか、100周年には是非開催したいものです。この六甲台後援会は、本誌前号「415号」にも書きましたように、新制神戸大学の第2代学長だった古林喜楽先生が、大学活性化のために、当時多くの諸先輩の格段の支援の下に創立されたものです。その経

過については、平成17年8月発刊の「凌霜」366号に詳しく説明させて頂いています。

ただ、これが掲載されていた「凌霜」366号は、「六甲台後援会だより」をはじめた号でもあり、それには、単に六甲台後援会の生い立ちだけでなく、当時の凌霜会と六甲台後援会の理事長であった新野幸次郎氏の「これからの神戸大学と凌霜会と六甲台後援会」というエッセイが掲載されていますので、いまでも「凌霜」誌366号をお持ちの方は是非読み直しをして下さればと思います。なお、その次の号、367号には、「六甲台後援会の事業活動の概要」で、創立以来、六甲台後援会の実施してきた事業の概要が述べてあります。

そこで、改めて、皆さんに六甲台後援会がどれだけ充実した活動をしてきたかを理解して頂くために、事業活動を開始した昭和33年から平成28年までの58年間に亘る諸活動を概観しますと次のようになります。まず先生方の海外研修支援（長期・短期を含めて）679名、総額8億8,254万円、外国の研究者招聘336名、総額6,777万6千円、学会・シンポジウム補助253件、総額6,906万7千円、学術成果刊行1億7,507万9千円、各部局研究調査補助3,714万1千円、凌霜賞など学生支援1億5,179万4千円、田崎奨学金授与学生292名、総額1,405万9千円、久研究奨学金授与者21名、総額907万3千円、講堂、武道場の改修整備、学生食堂の他、中山正實画伯壁画修理などの学術基盤整備等総額1億5,907万7千円、ロイ・スミス館の修理運用などをはじめ学術交流施設維持管理1億3,242万6千円など総計17

億7、435万2千円（但し、図書購入など若干のものは記述していません）となっています。

考えてみますと、古林先生が皆さんのご協力でこの財団を創立された時以来、この58年に以上のようにこれだけの運営ができましたことは誠に有り難いことでございます。

先生方の海外研究活動の支援でも、神戸大学の社会科学系3学部 of 教員になると在外研究も可能になるからというので就任された先生もいらつしやることなど考えると、社会科学系3学部・研究科と国際協力研究科のために本財団がどれだけ大きな貢献をしてきたかは推察して頂けると思います。本財団は、その意味では従来、先生方の研究補助などが中心で、学生諸君への教育上の貢献は間接的でした。しかし、平成20年からは、創立50周年記念事業の一つとして創設され、優秀な学業成績を上げられた学部および研究科の学生諸君に、社会科学特別奨励賞（略称、凌霜賞）を授与することにし、平成28年度までに270名の学生諸君に計1億967万9千円を助成することになりました。また、今迄多くの皆さんはご記憶のように、以前は神戸高等商業学校時代のカリキュラム編成の伝統に従って、他大とは違って神戸大学では、法・経済・経営の3学部の学生は、それぞれ例えば、経済学部だと法学部の科目から、憲法の他、商法、経営学部の科目のうち、経営学総論の他、会計学など、2科目を必須科目として履修するような規則になっていました。ところが、3学部ともいわゆる大学院大学として大学院生を大幅に定員化し（この中には外国人留学生の増大も含まれています）、授業負担が多くなったこともあってこういう制度はな

なってしまいました。しかし、卒業生の皆さんからは、3学部学生が他の2学部の科目を必須科目として受講した結果、他大のそれぞれの学部卒業生よりも幅広い視野と学識を持つことができたとの評価もあり、平成20年度からは以前のような3学部の相互履修科目を設け、そのための教員手当を財団で助成することにになりました。このねらいは、残念ながら完全に達成された訳ではありません。しかし、少なくとも、それ以来、3学部の学生全体の平均をとると6割強の人たちが履修するということになってきました。その意味では、本財団はこの近年、学生諸君への直接的支援にもかかわるようになった次第です。

なお、現役学生諸君への支援という点では、本財団の事業ではありませんが、平成27年より凌霜会の方で、独自の寄附講義を開設されるようになったことも付記させて頂きます。この凌霜寄附講義では、3学部の1年生、2年生を対象に、神戸大学の開校以来の歴史をはじめとして、卒業生の皆さんのうち、各分野でご活躍になっている12名の方々を講師としてお話をさせて頂くことになりました。講師の皆さんには講師料なしでご出講頂いていますが、受講する学生諸君の評価は非常に高いようにお聞きしています。これも、いうまでもなく、凌霜会員の皆さんのご支援のお蔭です。誠に有り難うございます。

大学のレガシイ・レジエント・ストーリーづくりをしてはどうでしょう

いま国際的に都市の活性化ないし創生のために、それぞれの都市で以前から受け継がれたレガシイをもう一度掘り起こし、それに伴うレジエントを豊かにして、できればストーリーを作

るといふ動きが出てきています。考えてみると最近、大学でもその必要が強くなっていると感じざるをえません。つい最近も、甲南大学を訪問する機会がありました。私立大学では、設立者の色々な遺品や日記や著作など、記念室を設けて展示をしているところが多いのですが、甲南大学でも本館1階に極めて立派な創始者・平生鈺三郎さんのレガシイを展示した記念館があります。ところが、われわれのような国立大学には、そうした記念室が特別に設けられているところは少ないのが普通です。我が神戸大学でも、そういう部屋は一つもありません。しかも、最近の学生諸君は昔と違って、どこの大学にはどんな先生がおられて、どんな卒業生が居たのかといったことは、案外知らないうでいる人達が多いものです。大学、特に学部生活においては、いろいろな人達、特にその大学の先生方や先輩の人達の私生活や、ご活動などに感動を覚えながら、成長して行くものです。その意味では、その大学の生い立ちだけでなく、学生諸君にそうした感動を与えるような生活を送られた先生方や卒業生の方のご活動に連なるレガシイやそれにまつわるレジェンドなどを誰でも判るような形で展示する記念室があることは絶対望ましいと思われまふ。そう言えば、凌霜人ではありませんが、平成29年8月に逝去された教育学部出身の東野洋子さんなどもその一人と言つてよいと思われまふ。彼女は今から35年前、あることからダウン症や自閉症の子供達に友人2人と一緒に音楽を楽しまふようになられました。この子供達は、1曲揃つて演奏できるようになるまでに1年、場合によつては3年もかかったようです。そのため、曲の演奏と訓練のために彼女はその子供達と

心を通じ合えるようになり、お互いに思いやりのある生活を送ることになりました。それに感激した米谷収さんなどのロータリアン（米谷さんは、昭和32年経済学部卒です）が、彼女の活動を支援するようになり、この「楽団あぶあぶあ」はニューヨークなど海外でも演奏され、国際的にも高い評価を受けることになりました。残念ながら彼女は10年ほど前から癌を患うようになり、しかしその間も楽団のために尽力を続け、つい最近亡くなられた日野原博士もそれに感動して、「あぶあぶあ」の皆さんと一緒に踊られたこともありまふ。また、癌になつてから画くことが多くなつた彼女の明るい絵とそれにそえられた詩には、竹下景子さんも賛同され「あなたに見せたい美しいもの」といふ彼女の絵と詩の本の選者になつておられます。こうした人の生きざまは、それを公開できれば、きつと純情で強い感受性を持つ現代の学生諸君にも通ずるものがあると思ひます。私たちは、こうした記念室を以前の発達科学部などに作つて頂くことによつて神戸大学をより気力の満ちた大学にしたと思ひますが、いかがでしよう。

今期も多くの方々からご寄附を頂き有り難うございました。新しい法人化の方針によると、公益財団法人へのご寄附が免税など税法上の措置を認めて貰うためには、毎年1人3千円、100人以上の寄附人員の存在が不可欠であるということで、神戸大学社会科学系5部局200名余の先生方にもご協力をお願いしています。本年も計61万3千円頂いています。誠に有り難いことです。それとは別に今期は、多くの皆さまからご寄附を頂きました。

記述の便宜上、寄附金額の順に書かせて頂きますと、佐渡嶋英厚様(昭48・経営) 千円、井上四郎様(昭31・経済) 2千円、小澤靄史様(昭34・経済) 3千円、柴田孝生様(昭55・経営)、河野泰士様(平3・経営)、金丸昭夫様(昭24・9)、間林馨様(昭43・法)、市野貴之様(昭59・法)、井上 徹様(昭59・経済) から各5千円、田中嗣也様(昭34・法)、渡辺 昇様(昭50・法)、江口博寿様(昭43・法)、風早正幸様(昭43・経営)、中 宣好様(昭33・経済)、藤澤正治様(昭57・経済)、石田宏様(昭29・経営)、桑原千香様(昭63・法)、中村滋彦様(昭60・経済)、樋口俊夫様(昭43・法)、清水秀男様(昭41・経済)、藤井 剛様(平3・法)、川邊正勝様(昭24卒)、小林和雄様(昭48・経営)、近藤和雄様(昭32・法)、納土賢汰郎様(平27・経営)、大野和夫様(昭41・経営) から各1万円、上之蘭久様(昭29・経済) 2万円、木村 功様(研究所事務長)、岸本義一様(昭56・経営)、高谷晋介様(昭49・経済)、領木康雄様(昭54・法)、兼広輝臣様(昭41・法)、吉川英昭様(昭39・経営)、加輪上敏彦様(昭37・経営)、矢野和久様(昭56・経営) から各3万円、鶴 浩一様(昭32・経済)、香川次朗様(昭51・経済)、瀬野銅太郎様(昭46・経営)、西沢信雄様(昭23卒)、平岡眞樹郎様(昭29・経済) から各5万円。蔭山秀一様(昭54・経済)、辻本健二様(昭45・経済)、玉井英二様(昭29・経営)、高山忠久様(昭52・経営)、岡田信吾様(昭43・経済)、佐野 健様(昭30・経営)、高岡浩三様(昭58・経営)、江崎勝久様(昭39・経営)、坂井信也様(昭45・経済) から各10万円、上竹原康宏様(昭34・経営)、松坂英孝様(昭55・経営) から各20万円、井村達男様(昭

37・経営)、高士 薫様(昭50・法) から各30万円をご寄附くださいました。今期は更に豊田利久様(昭38・経済) が50万円、田中正己様(昭34・経営) が60万円、福嶋正彦様(昭34・経営)、石光輝男様(昭21卒) の2名がそれぞれ百万円。また加護野忠男様(昭47・経営修) には2百万円をご寄附頂きました。

今回このように、ご寄附をして頂いた方々が多く、しかも、いままで以上に多額になりましたのは、本会の高崎正弘理事長を中心とする役員の方々の皆さんのご尽力の結果でもあります。高崎理事長は、いま特定のお名前はさし控えさせて頂きますが、従来とも凌霄会や六甲台後援会のためにご貢献を頂いている方々のところへ参上され、経済的不安のある中で本会の財政の安定化のことで、ご相談下さり、多くの皆さんのご協力をお願いさせて頂きました。改めて理事長はじめ本会の役員の方々に事務局としてもお礼を申し上げます。なお、本号では、このあと列記させて頂くように凌霄3学部合同25期会97名の方々から各3千円、計29万1千円を含めて合計86万1千5百円のご寄附を頂くことになりました。本当に有り難うございました。今年、最初に述べましたように、本会創立60周年に当たります。皆さんのこれからの続いでのご支援・ご協力をお願いいたします。

先述しました3学部25期生の皆さんは、まず法学部卒は、星川 翼様、四宮孝郎様、浜田輝子様、上田秀夫様、守屋 均様、綿島浩一様、森下 浩様、古市裕子様、岡田康夫様、山下 淳様、北田暁子様、山並義昭様、大川 良様、辻本尚志様、大井隆博様、中川博之様、矢野彰一様、尾崎幹之様、谷 久美様、

経済学部卒は、三宅典之様、八坂朋道様、大井祥史様、天野善生様、伏見正章様、西川義明様、藤井宏史様、播磨政貴様、山口隆久様、大城代昌男様、山本浩司様、小砂圭一郎様、伊藤英伸様、谷村偉作様、丸山文雄様、野尻忠照様、久保田洋様、森和博様、大本博士様、駒谷正恒様、木村勇治様、奥村和行様、木代雄久様、馬場 博様、神保邦雄様、歸山祐治様、柏木 茂様、小林慎一様、向井泰彦様、京極 孝様、西原 章様、畑善太様、磯島 保様、桜田幸雄様、岡本康雄様、小田康弘様、経営学部卒は、正司健一様、森田直行様、糸井義之様、岡本健様、村田高士様、西岡慶則様、白石義明様、竹田進亮様、林敏一様、河嶋俊明様、黒田慶一様、當麻芳輝様、木島秀夫様、大坪 敏様、井上 茂様、竹内 稔様、久保 亘様、中島正純様、今井清次様、松井勇巳様、西山正寛様、岡田勝三様、高山忠久様、泉 正紀様、田中隆志様、竹田正人様、水野貴久男様、岩崎一也様、隈本秀夫様、室 伸幸様、河野 博様、山形輝雄様、五島正光様、藤田 覚様、奥村昌彦様、尾上友宏様、堀茂仁様、長井保夫様、浅井 剛様、川坂陽一様、松井一雄様、松尾 晃様、です。多くの皆さん本当に有り難うございました。

大学文書史料室から(25)

附属図書館大学文書史料室長補佐

野 邑 理栄子

なお、毎回お願い申し上げます寄附金の送り先は左記のとおりです。よろしくお願ひ申し上げます。

◎銀行送金の場合（銀行からの通知がどうしても遅くなり、領収書等のご送付が遅れる可能性がありますので、是非ご送金のことを事務局にご一報ください）

銀行名 三井住友銀行六甲支店

口座番号 普通預金 4069496

口座名義 公益財団法人神戸大学六甲台後援会

◎郵便振替の場合（通信欄に卒業年次と出身学部をご記入ください）

口座番号 0098019116772

口座名義 公益財団法人神戸大学六甲台後援会

〒657-0068

神戸市灘区篠原北町4-11-5

公益財団法人神戸大学六甲台後援会事務局

電話・FAX (078) 861-3013

E-mail: rokodaiund@kobe-u.com

神戸大学ロゴマーク

「いつの間に神戸大学の学章が変わったの？」

先日、昭和30年代卒業の方からこのようなご質問を頂戴した。ホームカミングデーで久しぶりに母校を訪ねると、あちこちに